

<特別セッション>

第二報告：証券市場の進展と“金融”論の大学教育

武蔵大学 丸 淳子

1. 金融市場において、証券の取引および市場の拡大、グローバル化の進展
資金の需要サイドから見ると、企業、政府は証券市場からの調達が急速に拡大
市場での取引はグローバル化しやすく、市場参加者の専門化・高度化が要求される。
2. 資金の供給サイドからみると、証券市場の拡大の影響は非常に規格である。金融資産大
国である日本の資金供給の主役である家計（個人投資家）は1980年以降30年余たつて
も、預貯金中心の資産選択（運用）であり、株相場式の上昇時に証券投資が増加するが、
相場下落とともにもとに戻っている。これは金融ビッグバンで掲げた‘貯蓄から投資へ’
以降でも変化していない。

このような金融、金融市場の現状と金融論、金融教育の対応

1. 金融論のテキストの概要
2. 武蔵大学・金融学科
3. 金融教育の実態は金融機関の販売窓口：
銀行の投信窓販の実態